

関西大学第一高等学校・第一中学校

2018 年度学校評価報告書



2019 年 3 月

目 次

1. 本校の概要.....	1
2. 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策....	2
3. アンケートの実施状況について.....	7
4. アンケート結果の分析.....	8
5. 学校関係者評価委員会からの評価結果.....	13
6. 校長の意見書.....	15
7. アンケート結果.....	16

1 本校の概要

(1) 沿革

大正元年 8月	文部省告示を以て社団法人関西大学附属「私立関西甲種商業学校」設立認可
大正2年 4月	本科3年制として開校
大正13年 4月	「関西大学第二商業高校」設置認可、開校
昭和4年 9月	天六新学舎が竣成し、従前の福島学舎から移転
昭和19年 3月	第二商業高校、戦時学制改革により廃校
昭和22年 4月	学制改革により関西甲種商業学校在学の1・2・3年をもって「関西大学第一中学校」を開校
昭和23年 4月	学制改革により「関西大学附属第一高等学校」を開校
昭和24年 3月	関西甲種商業学校第34回（有終）卒業式挙行
昭和25年12月	旧千里山遊園地を買収、以後関西大学外苑と呼称
昭和27年 9月	校名を「関西大学第一高等学校」と呼称
昭和28年11月	関西大学外苑高台に関西大学第一高等学校新校舎落成、天六学舎より移転
昭和30年 3月	関西大学第一高等学校 第7回卒業式をもって、夜間課程を廃止
昭和32年11月	関西大学第一高等学校 校舎増築、中学校新校舎工事の落成式を挙行
昭和36年11月	関西大学第一高等学校 創立50周年記念式典挙行
昭和52年11月	関西大学第一高等学校 創立30周年（新制）記念式典挙行
昭和56年 3月	関西大学第一高等学校 新校舎落成
平成7年 4月	関西大学第一中学校 共学化
平成10年 3月	関西大学第一中学校 新校舎落成
平成10年 4月	関西大学第一高等学校 共学化
平成11年 2月	関西大学第一中学校・第一高等学校 体育館兼講堂 秀麗館落成
平成16年 1月	関西大学親和館落成
平成25年 8月	関西大学第一高等学校・第一中学校 温水プール落成
平成25年11月	関西大学第一高等学校 創立100周年記念式典挙行 一高一中校舎リニューアル 正門整備 ICT教育設備完成
平成27年 2月	一高グラウンド人工芝改修
平成27年 9月	一中職員室改装
平成28年 3月	一中1号館会議室改装

(2) 建学の精神、教育理念・教育方針・教育目標等

第一中学校・第一高等学校は「関西大学の併設校として、関西大学の建学の精神を受け継ぎ、真理に立脚した正義と近代市民の生活に根ざした自由かつ進取な気風を標榜して、心豊かな、有為な人材を育てることを根本に据える」という教育理念のもと、次のような教育方針並びに教育目標を掲げ、さらなる向上と充実に向けて、学校教育計画を策定している。

教育方針「正義を重んじ誠実をつらぬく」

- ① 青少年が内に蔵する無限の可能性を尊重し、これを啓発する。
- ② 生徒自身の真の幸福を追求する。
- ③ 進取の気性を養い、規律を重んじ、協同の自治と精神を育成する。

教育目標「知育・徳育・体育の高度に調和した人間教育」

- ① 将来につながる基礎的知識を確実に身につける。
- ② 集団の中における自己の責任を自覚し、豊かな人間性を育てる。
- ③ 自己の健康に留意し、体力の向上をはかる。

2 今年度の重点目標における取組計画・内容、自己評価及び今後の改善方策

(1) 重点目標①：基礎学力の習得

達成状況の目安：(◎)大幅達成・(○)達成・(△)未達成・(×)大幅未達成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 成績不振生徒に対してフォローを行い、基礎学力の向上を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <p>(高校) 高校1、2年は年間4回の補習と成績下位者対象の補習、高校3年は模擬テスト対策補習を適宜実施する。 (中学) 各定期検査の結果を踏まえ、5教科を中心に4時間の補習を各学期検査前に実施する。</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校) 1学期期末検査、2学期中間検査と期末検査、3学期期末検査の年4回、各教科2回ずつ、成績不振者に補習を行う。 (中学) 日程を確保することに苦慮したが、年間を通じて中学各学年平均177時間の補習を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (高校) ◎ (中学) ◎</p> <p>(高校) 各教科2回ずつの補習を行うのに、日程面で苦慮した部分もあったが1日複数の補習を同時並行で行うなどの工夫をした。 (中学) 第1学期中間検査、第2学期中間検査、第2学期期末検査の結果を踏まえ、補習を必要とする者に対して各教科最低4時間の補習を実施すると共に、複数の学年で国語・数学・英語では普段からフォローの目的で実施されていた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校) 補習を行う可能な日が各教科2回ずつの補習日数より少なく、補習の開催日が重複してしまうようになっている。今後補習の開催日を見直すことも必要である。 (中学) 補習を忘れて帰宅する生徒や通院予定を入れてしまう生徒がいるため、案内を渡すだけで終わらせず、担任を中心に声かけを徹底したい。</p>

<p>イ ICT 機器の有効活用により、教育効果を高める。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75%以上の生徒が1日1回は電子黒板やプロジェクタ等 ICT 機器を使用した授業を受けている。 ・電子黒板の利用により授業がわかりやすくなっているとアンケートで回答した生徒が75%以上いる。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】 電子黒板での授業展開を容易にするよう、スクリーンを整備し、教員への啓発に努めた。</p> <p>【達成状況 (Check)】 ○ 中3を除く各学年（高3は未調査）で75%以上の生徒が ICT 機器を利用した授業を受けた。 高3を除く全ての学年（高3は79%）で89%以上の生徒が電子黒板の利用により授業がわかりやすくなっていると回答している。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】 全学年での目標数値達成、及び iPad を用いた授業の実施を検討する。</p>
<p>ウ 図書室の利用推進を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75%以上の生徒が図書室を利用した授業を年に1回は経験している。 ・75%以上の生徒が授業以外で図書室を年に1回は利用している。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】 中学1年図書委員による書店への出張選書や図書だよりの発行、高校図書委員による文化祭への出店を行った。</p> <p>【達成状況 (Check)】 ○中3・高3を除く全ての学年（高3は未調査）で、85%以上の生徒が年1回は図書室で授業を受けている。 △中1は84%の生徒が年1回は個人で図書室を利用しているが、それ以外の学年の生徒は50%～70%に留まった。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】 図書室利用振興策の改善を検討する。</p>
<p>エ 各種検定の受検者数を増やす。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期に各種検定の告知をする。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況 (Do)】 例年と同じく英検（STEP）は学級掲示で毎回告知した。</p> <p>【達成状況 (Check)】 (◎) 英検は、高校1年生が例年より早く第2回目で受験する生徒が多かった。</p> <p>【今後の改善方策 (Action)】 関西大学への卒業見込者入試に各種検定が活動評価点として加点されるので、数検・漢検等も告知していくようにしたい。</p>

(2) 重点目標②：豊かな人間性の育成

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア マナー、モラル向上のための指導を行い、規範意識を高める。</p> <p>【評価指標】</p> <p>(高校) 規範意識を高める集会を年間3回実施する。風紀委員会を学期に1回以上開き、風紀向上の啓発を行う。 (中学) 規範意識を高める集会を年間3回実施する。</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校) 各学期の始業式・終業式などを利用して登下校や食堂のマナー指導を行った。</p> <p>(中学) マナーやモラル向上についてHR・終礼・式で訴えかけた。</p> <p>【達成状況(Check)】 (高校) ◎ (中学) ◎</p> <p>(高校) 各学期の始業式・終業式に全校集会を行い、主に生徒会や生活指導主任から啓発を行った。風紀委員会は、各学期に1回、さらに体育祭や関一祭前にも委員会を開いた。</p> <p>(中学) 集会としては年間5回実施した。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校) 次年度は、生徒会との連携を強くして、生徒同士がお互いに注意・啓発しあえるような取組を考えたい。</p> <p>(中学) 今後も機会あるごとに生徒のマナーやモラル向上につながるよう、声かけに努める。</p>
<p>イ 生徒が安心、安全な学校生活を送れるように支援体制を整える。</p> <p>【評価指標】</p> <p>・生徒対象に防犯教室や熱中症対策講習会などの研修会を中高それぞれ2回ずつ実施する。教員対象に救急救命や学校でよく起きる事故についての研修会を2回以上実施する。</p>	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>定期健康診断の実施とデータを踏まえ、保健室と連携をとりながら指導を行った。4月の新入生オリエンテーションにおいて、警察官の協力を得て、男女それぞれに「防犯教室」を実施した。5月には中学1年生と高校1年生に対して「熱中症対策講習会」を開いた。また、12月には中学2年生に対して吹田消防署の協力を得て「救命講習」を実施した。教員に対しては、生徒の緊急時に対応できるよう、5月に新任の先生を対象に養護教諭による「応急手当講習会」を実施し、10月には消防署員による「救急救命講習会」を実施した。</p> <p>4月に中学1年・高校1年を対象にスマホ等の情報機器との付き合い方の講演会を実施した。</p> <p>また、各学年の必要に応じて講演会を実施し、情報機器の適正な使い方について講演を行った。</p> <p>【達成状況(Check)】</p> <p>◎生徒対象の防犯教室を中高合同で1回と、熱中症対策講習会を中高それぞれ1回ずつと、中学2年生に対して救命講習会を1回実施した。教員対象の講習会は、新任の先生を対象に応急手当講習会を1回、救急救命についての研修会を1回実施し、生徒対象と教員対象を合わせ6回実施した。</p> <p>○高3を除く全学年(高3は未調査)の88%以上が電子端末を</p>

	適切に使っていると答えている。
	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>今後も生徒に対しては、安全で健康的な学校生活を送ることができるように、また、教員に対しては生徒の安全な学校生活を支援できるように講習会など開催していきたい。</p> <p>学年毎の段階に応じた講演内容での実施と、各学年で年1回の講演会の実施を検討する。</p>

(3) 重点目標③： 教員の指導力の一層の向上

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 特別な教科道德の授業力の向上を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道德教育に関する授業力向上研修会に3回参加する。 	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>2019年度からスタートする中学道德教科化に向け、外部から講師を招き研修会を行い、教務主任は外部の研修会に参加した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (○)</p> <p>教務主任は外部の研修会に3回以上参加したが、一般教員は1回の研修会に参加するにとどまった。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>研修会のみならず、校内において道德教育推進委員会を中心に様々な課題に対処する予定にしている。</p>
<p>イ 教科ごとや教科を横断した研修会を実施する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 年間2回以上の研修会を開催する。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>道德教育の実践及び人権教育に関する研修会を開催した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎)</p> <p>道德教育の実践に関する研修会と、人権教育に関する研修会をそれぞれ1回ずつ開催し、道德教育の実践方法について理解が深まった。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>道德教育に関する問題点並びに改善点を探っていきたい。</p>
<p>取組計画及び評価指標(Plan)</p> <p>ウ 防災教育のさらなる充実を目指す。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 避難訓練を中学校、高校それぞれ2回ずつ行い、緊急時の行動を教員と生徒が理解できるようにする。本校防災マニュアルの見直しを図る。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>5月に中学、高校それぞれで避難訓練を行った。9月には中学校で「大阪880万人訓練」に合わせ避難訓練を行った。部会では、避難訓練での反省や、実際に災害が起きたときの反省を踏まえ、2回にわたり防災マニュアルの見直しを行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (△)</p> <p>高校は9月の1週目のスケジュールがタイトであり、5月の1回のみ開催にとどまった。</p>

	<p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>6月の大阪北部地震では、訓練の時には想定できなかった状況に直面し、課題解決に向けて取り組む必要性を感じた。</p> <p>毎年行われる避難訓練をもとに、課題をみつけ、本校の防災マニュアルを見直していく。</p>
<p>ウ 人権意識を育む。</p> <p>【評価指標】</p> <p>(中学)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめに関するアンケートを年2回実施する。 ・人権HRを年6回以上実施する。 <p>(高校)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権ホームルームを各学年、学期に1回以上実施する。 ・「いじめに関するアンケート」を実施する。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>(高校) 人権ホームルームを各学年、学期に1回以上実施し、「いじめに関するアンケート」を実施した。</p> <p>(中学) 各学年で講演会・グループワーク・人権標語創作等を企画し、取り組んだ。いじめに関するアンケートを年2回実施した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (高校) ◎ (中学) ◎</p> <p>(高校) 全学年で学期に1回以上の人権ホームルームを実施した。「いじめに関するアンケート」を2学期に実施した。</p> <p>(中学) 様々な人権に関する問題を生徒と共に考えることができた。アンケートの実施により、早期に生徒間のトラブルを把握し、解決につながることができた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>(高校) 人権ホームルームの内容の再検討を行う。「いじめに関するアンケート」の中で、「いじめられる方にも問題がある」と回答した生徒に対し、そのような考えに至った経緯・実体験などを丁寧に聞き取り、適切な働きかけを行う。</p> <p>(中学) 次年度より、「道徳の授業」が始まる。それに関連づけて、より効果的な内容や講演会を考えたい。</p>
<p>エ 関西大学が実施する各種セミナーへの主体的な参加を奨励する。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間に3回以上各種セミナーの告知をする。 	<p style="text-align: center;">自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>全セミナーについて、掲示と共に全生徒に案内プリントを配布した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎)</p> <p>セミナーが10回あり、それを全て生徒に告知した。告知の効果もあり、全体的に受講者が増えた。特に1日実施でない、「関大の研究を体験する」(4回分)、「関大の講義に学ぶ」(15回分)に受講者が増えた。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>引き続き現在の取組を推進する。</p>

(4) 重点目標④：学校と家庭との連携による協力体制の確立

取組計画及び評価指標(Plan)	自己評価
<p>ア 学校と家庭との連絡を密にする。</p> <p>【評価指標】</p> <p>(高校) 成績懇談会を年間2回と個人懇談を適宜設ける。 (中学) 保護者との懇談会を年間2回実施する。</p>	<p>【取組状況(Do)】</p> <p>各学年とも、6月上旬に実施された成績懇談会を始め、夏季休暇前の三者面談等で生徒・保護者との情報交換をしっかりと行った。</p> <p>【達成状況(Check)】 (◎)</p> <p>高校、中学とも学級懇談会を1回、中間考査後に成績懇談会を2回、個別・三者面談を1回以上行った。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>毎年上記の回数を実施する。また、配慮が必要な生徒の家庭とはこれまで同様緊密な連絡体制をとる。</p>
<p>イ Web ページの充実を図る。</p> <p>【評価指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒、保護者対象アンケートで、Web ページを活用しているという回答が75%以上。 	<p>自己評価</p> <p>【取組状況(Do)】</p> <p>行事の更新頻度の向上に努めた。 部活動報告は2ヶ月に1回の頻度で部員の生徒の報告文を掲載した。教員の研修報告をWeb ページに掲載した。</p> <p>【達成状況(Check)】 (高校) × (中学) △</p> <p>(高校) 40～50%がWeb ページを閲覧していない。 (中学) 各学年の62%以上の生徒がWeb ページを閲覧している。</p> <p>【今後の改善方策(Action)】</p> <p>更新頻度を向上し、閲覧しやすいページとなるよう改善する。 ポータルサイト化で閲覧の必要性を向上させる。</p>

3 アンケートの実施状況について

本校の「学校評価(自己評価)」は、①自己点検・評価の内容や方法、②スケジュールについては、概ね昨年度を踏襲することとした。「教員への自己点検・評価アンケート」と共に、「生徒アンケート」・「保護者アンケート」は、中学生・高校生の全生徒・全保護者に行った。本校独自の評価項目については、昨年度と同評価及び改善方法等を検討し、本年度の教育活動を点検した上で、10月24日の本校「自己点検・学校評価委員会」において決定した。

「教員への自己点検・評価アンケート」は、12月5日にアンケート本文及びマークカードを専任教諭へ配付し、当日回収した。有効回答は76件(回収率86.4%)であった。

「生徒アンケート」は、高校生は12月6日にホームルーム教室で実施し、即日回収した。有効回答は高校生30クラス・1168件(97.7%)であった。中学生は12月7日に実施し、有効回答は18クラス・716件(97.3%)であった。

「保護者アンケート」は、高校は12月6日に配布して12月8日までに回収、中学は12月7日に配布して12月12日を期限として回収した。有効回答は、高校保護者1024件(回収率85.6%)、中学校保護者691件(回収率93.9%)であった。

4 アンケート結果の分析

実施対象別のアンケート結果をもとに以下のように分析した。(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

(1) 学校生活全般に関して

本校に対する満足度

今年度も、生徒たちは学校生活を楽しんでいると感じており、アンケートでも約95%の者が充実した学校生活を送っていることがわかる結果となった。また、保護者の満足度も高く、この学校に入学させてよかったと感じている保護者が90%を越えている。関西大学の併設校ならではの勉強にも部活動にも打ち込める環境を高く評価していることがこのような結果に繋がったと分析する。我々教員側も、この両者の満足度を今後とも維持するためにもよりよい学校づくりに向けた努力をしなければならないと考えている。

ただ、「入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか?」という質問に対する肯定的な回答が、高校生で54%、中学生では72%であった。この背景には、自由な校風のイメージを履き違え、入学後の生活指導面での厳しさや課題提出に関する厳しさに若干の戸惑いを感じている結果なのかもしれない。

(2) 学校運営について

教育方針・教育目標の理解

保護者が本校の教育方針を良く理解してくれていることがわかる結果となった。中高共に保護者の90%以上が理解しているとの回答である。生徒に関しては、中学生は80%を超えている。高校生は多少学年によってバラツキが見られる。その中でA、B回答が最も低かったのが高校3年生の68%というのが気になるところである。各学期の始業式、終業式等、全体集会の機会を捉え、教育方針、教育目標にちなんだ講話を実施したが、今後も本校の教育の根幹をなすこの教育方針・教育目標をもっと生徒達に浸透させ、生徒自らがこの教育方針を念頭に置きながら学校生活を送るよう指導していかなければならない。

(3) 教育内容・生徒支援について

ア 危機管理

事故・事件・災害発生時の対処方法については、毎年実施される避難訓練、防犯教室の開催が役立ち、中学生は93%、高校生は79%の生徒が理解できている。保護者においても認知度は生徒同様に高い結果となっている。

昨年6月に発生した大阪北部地震の発生時刻がまさに通学時間帯と重なった。このことを受け携帯電話やスマートフォンの持ち込みを許可し、緊急時に限りそれらの使用を暫定的に認めたことは、保護者にとって危機管理の面で安心されているように思う。

今回の地震を踏まえて、さらに防災マニュアルの内容を更新し、万が一の時に備えているところである。

イ 知育（中学）

[学力向上の取組]について、中学生は全体で 86%の生徒が「あてはまる」と回答。保護者の 73%の方が「あてはまる」と回答しているが、残り 26%の方は、もう少し学力向上に努力してほしいと望まれている現状である。学校側も工夫をこらして対策をする必要があると考えている。教員全員で全校生徒の基礎学力が定着するよう、再認識している。

[学習施設・設備の充実]について、教員の 62%は本校の施設や設備に満足しておらず、改善の余地があると回答している。具体的には、部活動場所の不足が最も大きなポイントだと思われる。大学や近隣の公的な施設も含め活動場所を探りたいと思う。

それに対して、生徒と保護者は施設・設備面に対しては、おおむね満足しているようである。それは、全教室に設置されている電子黒板をはじめとする I C T 教育の促進や冷暖房の完備、体育の授業や部活動で利用しているグラウンドの人工芝や温水プールの利用が満足度を上げているのであろう。

[学力不足生徒へのフォロー]について、中学生は 83%の生徒がフォローに満足しているが、保護者は 68%の方が満足していると回答している。この差は、生徒にとっては、課題等が期日を過ぎても未提出のままである、あるいは、習熟の度合いを確認するための小テストが合格点に達していない場合などは、日頃から個別にきめ細かく指導を行っていることがこのような結果につながっていると思われる。

[勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。]について、中学生の 80%以上がそのような環境づくりができていると答えているが、中学校の保護者の 69%しか環境づくりができていると回答していない。保護者にとっては、子供が学校内で先生に質問や相談を行っていないと理解されているかもしれないので、学級懇談会や面談を利用して実態を話したいと思う。

知育（高校）

教員「学力向上のための組織的な取組」で A B 合計昨年度 60%から今年度 50%、保護者(全体)「学力向上のための組織的な取組」で A B 合計昨年度 70%から今年度 63%、生徒(全体)「授業を通じ、自分の学力は向上している」で A B 合計昨年度 72%から今年度 69%と減少している。特に 3 学年生徒においては A B 合計昨年度 69%から今年度 58%に大きく減少している原因として、年度途中での関西大学への推薦条件が変わった点にあると考えられる。

生徒たちは目標とする学部学科で求められる科目に重点を置いて学習に取り組み、到達度を定期考査や模擬試験から測ってきたが、そのデータの取り扱いの変更から学部学科への進学の可能性に影響を与え、生徒たちの精神的不安が保護者にも大きく影響した結果だと思われる。その影響は、変化の内容が具体的にイメージできない 1 年生にも影響した。しかし、保護者・生徒(全体)「習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組」がほとんど変わらなかった結果から、各学年で推薦条件の変更に対する対策が行われたためと思われる。また、教員「学力不足生徒へのフォローのための補習授業や個人指導」の A B 合計昨年度 81%から今年度 73%

と減少した結果は、対策を立てるための十分な時間を設けることができなかつた点にあると思われる。

また、保護者(3年生)「教員の教材研究や指導力の向上に努めている」で AB 合計昨年度 84% から今年度 74% に大きく減少したのに対して、生徒(3年生)の AB 合計昨年度 62% から今年度 71% と増加している。これは先生から生徒に対して推薦条件の変更点についての対応策を行われていたが、保護者には不安的感情がとて大きく影響していたためと考えられる。

今後も入試の条件が変化していくなかで、より工夫された授業と教材研究が求められるとともに、保護者に対して時間的な余裕と丁寧な説明の必要性を強く感じた。

生徒(2年生)で、「学力向上」・「電子黒板」・「補習授業」・「工夫された授業」でいずれも AB 合計で昨年より約 10% 増加の結果になった。このように大きく変化した原因として、これらの要素の相乗的作用によって教育的効果が高められた結果だと思われる。今後、他学年にも積極的に生かしていきたいと考えている。

「電子黒板は授業の内容を理解するのに役立つ」で、保護者・生徒(全体)で昨年と同様に AB 合計 80% を超えている点から、いろいろな教科での幅広い活用が定着したと思われる。ホワイトボードシートを着脱しやすいタイプに取り換えるなど利便性を高めたが、教員「学習や部活動の施設・設備の充実」AB 合計昨年度 34% から今年度 38% の微増の結果であった。今後、探求学習に役立つ ICT 機器の早期導入や多くの先生方への活用を早めるための講習会やサポート体制が求められていると思われる。

「図書室は利用しやすい」と「勉強学校生活について、先生に質問や相談しやすい雰囲気」で、高校生徒(全体)で AB 合計 80% を超える高い数字が維持されているが、どちらも生徒の理解力を高めていく非常に重要な点である。そのため、高い数字維持のために、改善点の早期発見に努めていくことが必要と思われる。

ウ 体育

「基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学ぶ」の結果は生徒・保護者・教員すべてにおいて A・B 回答の合計が 85%~92% と高い数値になっている。保健体育科の正課授業や部活動の指導が、生徒・保護者から高い評価を受けている。また教員自身も自分たちの指導に自信を持っていることがうかがえる。

細かく見ると、中学生徒は、すべての学年において 90% 以上の生徒が A・B を回答しているのに対して、高校生徒は高 1→88%、高 2→90% であるが、高 3→78% と 10 ポイント以上の差がある。これは、高 3 生徒のほとんどが部活動を引退しており(12 月上旬)、また体育の授業も高 1・高 2 が週 3 回あるのに対して高 3 は週 2 回であり、運動する機会が減っていることに起因すると考えられる。

エ 徳育

「生徒のマナー意識やモラル向上の取組」について、中学・高校の保護者の A・B 回答の合計が 83~86%、中学生の A・B 回答の合計が 83% と高く評価している。電車内や食堂でのマナーの向上を呼び掛け、普段の学校生活の中でも、生徒自身がマナーの大切さを考える機会を繰り返し持ったことが高い評価につながった。ただし、中学生、高校生ともに、3 年生と 1 年

生の A・B 回答の合計に 10%以上の開きが生じている。回答通り、3 年生の生徒の規範意識が前年と比較して高まらず、望ましくない行動が表出しているのか、もしくは、意識しなくても、3 年生は高い規範意識を保持しているのか、見極めなければならない。

【いじめや不正防止の取り組み】について、中学・高校の保護者の A・B 回答の合計が 85～86%、中学生・高校生の A・B 回答の合計が 78～84%と高く評価している。ただし、高校 3 年生の A・B 回答の合計が 69%であった点が気になる。大学進学を控えた高校 3 年生では、いじめ防止の取組に時間が取りにくい現状があるが、本校の教育目標である「知育・徳育・体育の高度に調和した人間教育」を実現するためにも、ホームルームの実施内容を検討する必要がある。また、「いじめに関するアンケート」の中で、「いじめられる方にも問題がある」と回答した生徒がいる。まずは、そのような考えに至った経緯・実体験などを丁寧に聞き取り、適切な働きかけを行うとともに、生徒の学校生活の様子をよく観察し、いじめや不正の早期発見・早期対応を心がけることも不可欠である。

【人権に対する配慮の取組】について、中学・高校の保護者、中学生・高校生の A・B 回答の合計が 79～86%と高く評価している。ただし、中学 2 年生の A・B 回答の合計が 72%であった点が気になる。具体的にどのような場面で人権に配慮されていないと生徒が感じたのか、調査をする必要がある。また、引き続き、生徒が安心・安全な学校生活を送ることできるように、高い人権意識を持ち、よりよい指導を心掛けなければならない。

オ カウンセリング

【カウンセリング体制】について、中学・高校の保護者の A・B 回答の合計が 81%と高く評価したのに対し、中学生・高校生の A・B 回答の合計は 74～76%にとどまっている。この、保護者評価に比べ生徒評価が低い傾向は、昨年と同様の結果である。思春期を迎えた生徒にとって、自分の悩みを教員に相談することは、心理的なハードルが高いことが推察される。文部科学省は今後の在るべき姿としての「チームとしての学校」と、それを実現していくための改善方策を示している。本校においても、外部性を持つ専門家（スクールカウンセラーやピア・カウンセラー）が学校の教育活動に参画できるようなチーム体制の構築が必要である。

【教員に対する相談】について、中学の保護者の A・B 回答の合計が 69%、高校の保護者の回答が 76%であるのに対し、中学生・高校生の A・B 回答の合計は 80～83%と高く評価している。さらに、相談を受けやすい関係を作っていると回答した教員の割合は 92%であった。昨年と同様に、本項目における教員と保護者の認知に大きな隔たりがある点は改善されていない。教員として、いつでも生徒からの相談を受け入れる準備があるというメッセージを、よりわかりやすい方法で保護者にも発信する必要があるだろう。

【学習や部活動の施設・設備の充実度】については、生徒・保護者からの回答は A・B 合計で 78%～90%の概ね高い数値を示している。対して教員は C・D の回答が 62%と不満足であると感じている者が多い。

また、生徒は中学、高校ともに学年が上がるにつれ、A・B 回答の割合が減っていく。（中学：90%→86%→82%、高校：88%→85%→78%）保護者についても中学高校ともに 1 年生と 2 年

生の間で大きく下がる。(中学：86%→78%→79%、高校：83%→79%→79%)

総合すると、施設面において、保護者は「1年間通わせてみると、期待していたほど学習環境が整っていないと感じている」割合が一定数存在している。さらに、生徒においては、学習や部活動などで上位学年へと上がっていくにつれて満足度が低下していく。この最たるものが教員の結果で、生徒や保護者よりも長い間本校に勤めている教員の多くは、学校の施設が十分ではないと感じている。

オ 学校生活

学校行事に対する生徒会・各委員会について、中学校・高校ともに生徒会・各委員会が積極的かつ熱心に企画運営に取り組み、生徒達自らが充実した学校行事を自分たちで作りあげていると感じている(A・B回答が高校で94%、中学校で92%)。88%の教員がこの生徒主体の活動を高く評価しており、生徒自らが考動し、教員は生徒に助言・指導を行う能動的な活動として、受け継がれている。近年、保護者の子ども達の活動への関心が高くなっており、それに伴って学校行事への保護者の来校も増加し、座学だけでは測れない子ども達の成長を見られる良い機会となっている。

宿泊行事が充実しているかという問いに関しては、高校生の87%、中学生の94%が本校のそれを高く評価しており、また保護者も高校で90%、中学校では96%が充実していると感じている。この高い評価に甘えるのではなく、今後もより一層充実したものへと検討していきたい。

高校での古典芸能鑑賞、中学での芸術鑑賞・美術鑑賞・能勢プロジェクトなどの校外学習については、座学だけでは得られない「本物」の鑑賞・体験を目的に行っており、84%以上の生徒が、特に中学に限ると90%の生徒が良い機会であったと評価している。特に、本年度中学校で実施した芸術鑑賞では、本格的なオーケストラのホールである兵庫県立芸術文化センターを貸し切りにしてのオーケストラ演奏を鑑賞会では、平日昼間にも関わらず100名を超える保護者が参加し、「本物」を親子で体験し、家庭でのコミュニケーションの一助になったという感想を多数いただいた。また、中学では学年別に環境・社会学習を行っており、学校行事が子どもの自発的な学習に役立っていると回答した保護者が全体の85%に上っている。一方、高校の保護者に関しては、生徒主体による訪問地や見学場所を企画する校外学習なども行っているが、古典芸能鑑賞のみに評価ポイントを絞っている関係でA・B回答は72%と、行事自体の目的や意義が十分に教員から生徒・保護者に伝わっていないのではないかと推測される。

カ 学校間連携

高校1年生から学部の説明会やセミナーへの参加を積極的に取り組んでいるため、高中保護者・生徒(全体)「教育連携が積極的に行われている」でA・B合計が平均すると80%以上の高い結果になっている。ただ、中学保護者(全体)のA・B合計の数字が伸び悩んでいる点として、中高の連携関係の取組の少なさに問題があると思われる。また、高校保護者(3年)だけがA・B合計昨年度90%から今年度77%と大きく減少した原因は、知育(高校)で話題にあげた推薦条件の変更がここでも大きく影響していると思われる。併設校の利点は、学部選択で大切な各学部のアドミッションポリシーを早い段階から情報提供ができ、親子で将来の夢を語れる点にある。夢を実現するためにも、安定性のある高大連携を構築してほしいという思いが出ていると感じ

られた。また、大学入試での主体性や新教育課程での総合的な探求の時間導入にあたり、ますます中高大の連携を生かした取り組みを検討していかなければならないと強く感じた。

(4) 研修

教員に対する「校内外の研修体制が充実しているか。」という問いに対し、否定的な意見が多い。校外での研修を受けたい希望はあるようだが、校務に時間を取られる関係で思うように研修を受けられないのが現状であろう。また、校内研修においても同様のことが考えられ、教材研究、部活指導等業務に追われる毎日でそういった時間がなかなか持てないようである。生徒達は、「工夫された授業やおもしろい実験などが取り入れられているか。」という質問に対して、肯定的回答(A・B)が、中学生では80%を越えているが、高校1年生は59%に下がっている。学年が上がるにつれ、学習内容が高度化し、中学校の時のようなおもしろさを感じられなくなるのであろう。中・高の保護者は教員の研修が積極的に行われ、生徒に対する指導も効果的に行われているように感じている。アンケート結果を見ても75%以上の保護者が肯定的な回答をしている。今後は、研修会への参加を増やし、より効果的な指導方法を身につけ、「わかる授業の実践」が必要と考えられる。

5 学校関係者評価委員会からの評価結果

中学校保護者代表 PTA 会長西村栄一氏、高等学校教育後援会会長児玉至弘氏、関西大学法学部教授石橋章一朗先生に今回のアンケート結果や自己評価に対するご意見を頂戴した。今後の本校教育にとって貴重なご意見、ご要望を頂戴できた。以下、それらのご意見を記述する。

【高校教育後援会会長 児玉至弘氏】

1. 学校生活全般に関して

関西大学の併設校ならではの良い環境を生徒たちは享受できており、生き活きと高校生活を送っている。その生徒たちを目の当たりにする我々保護者も同様に、充足感に満ちている。具体的には、“内部入試”制度を活用できることで、一般の高校生とは違った心の余裕が持て、人間形成にプラスとなる部活動への積極的な参加等、学習面以外のことに時間を十分に使える環境が大きいと感じる。

2. 学校運営に関して

前述のように、大学併設校としてのメリットの一つとして積極的な部活動への参加が挙げられるが、クラブ数に相応の施設が圧倒的に不足していることは問題と感じる。今後の少子化を前提とした学校運営を「ゴーイングコンサーン」として考えた場合、これまでの“歴史と伝統のある関大一高”だけでは物足りないと思える。他の私学が施設の充実や、特色のあるカリキュラムで関大一高を猛追しているのを感じる。

昨年6月に発生した大阪北部地震の発生時刻がまさに通学時間帯と重なり、生徒たちも保護者も連絡手段が全くないことに、いままで経験のないような不安を覚えた。それまでは携帯電話の校内持込は一切禁止であったが、暫定的・条件付きでそれをいち早く認めていただいた。この件に関しては本校単独の判断とはいかず、各方面との調整が必要であったにもかかわらず、いち早く英断いただいた学校側に感謝している。

本校の特色である高大連携に関しては、他の関大併設校と比較しても非常に連携が取れていると感じる。これは、やはり歴史的なところが大きいと感じている。一方、入学当初から親子ともに関大への進学を大前提とした空気感があり、良くも悪くも学習習熟度に影響していると感じる。

【関西大学法学部教授 石橋章一朗氏】

1. 学力向上に関する感覚（質問番号6）、フォロー体制（質問番号8）について

高学年になるにつれて、CやDの選択肢が選択されやすくなるようです。報告書にもあるように、突然の関大への推薦入試制度の変更の影響は否めません。しかし、これは今回に限ったことなのでしょうか。高校2、3年生になると、自我がかなり発達し、また進路の選択を迫られるため、有能感が低下し、学校に対する要求も高まります。ですから、このケースを例外とは考えずに分析し、調査を継続することで、この問題に対応することが求められます。本報告書では、どのような生徒がCやDの選択肢を選んだのかはわかりません。他の回答とクロスさせるなどして、まずは現状の理解を深めることから始めてはいかがでしょうか。その際、少し高度な統計的な手法を用いた方が、分析結果は解釈しやすくなります。関係者への説明責任という点でも、分析方法の改善は欠かせません。

2. 入学前のイメージとのギャップについて（質問番号1）

報告書によれば、入学前のイメージと実際の学校生活が異なるのは、自由な校風の履き違えによるものとされます。しかし、質問番号4の回答結果をみると、生徒たちは貴学の教育方針・教育目標をある程度理解していると回答しているので、ひどい誤解が生じているとも言い切れないように思います。むしろ、生徒たちは、良い意味で裏切られる、つまり期待以上であると評価しているのではないのでしょうか。これは、貴学の学校運営を通じて、教員や保護者が認識できていない価値が創造されている可能性を示唆するものです。それが何であるのか、今後の調査を通じてぜひ明らかにされるようお願いいたします。

3. 教員組織のガバナンスについて（教員の質問番号5・8）

教員組織が何かを決定し、それを組織的に実施することの難しさについては、教授会という組織に身を置く者として、よく理解できます。理想とする教育や望ましい教育方法が、教員間で乖離するのが当然ですし、そうした多様性が学校教育を豊かにする面もあります。しかし、教員たちがある程度一致して行動することができなければ、限られた資源を効率的に利用できなくなり、ひいては生徒たちにあまり良くない影響をもたらすかもしれません。自己点検評価結果について教員同士が議論し、課題の発見と共有化を図ることが期待されます。

【関西大学第一中学校 PTA 会長 西村栄一氏】

この度、第一中学校の関係者評価という事でPTA事業に参加させていただいた1人として資料等を参考にさせていただきながら、強みと弱みについて私なりの評価を述べてみる。

まず、一般の保護者の方々より学校に行く機会が多い私が目にする光景は、ほとんどの生徒たちが先生や私を含めた保護者または目上の先輩たちにきっちり挨拶をしている姿をよく目にするのである。やはり中学生の早い段階で人としてのモラル：常識を身につける教育は必要であり、この事は私の子供が初めて学校見学に参加させてもらったときに、志望校を決める上で重点を置いた点である。中学校の教職員の方々には努力されていると思う。

もう一つ、いじめに対する中学校としての取組は、早期発見：実態把握：再発防止策は組織化されていて上手く機能しているように思う。実際自身の子供が、加害者側に回ったときは学年主任：生活指導の職員の方々の指導により救われた。

気になるところと言えば、皆さんが指摘されている事でしょうが、併設校特有のいわゆる“中だるみ”が出てくる事と思う。高校から入学される子供達との学力差に、戸惑う子供が出る事でしょう。あとアンケートにもあるが、食堂の環境は良いとは思わない。食堂の作りが平面的で圧迫感があり、購買と食堂が同じスペースにあるため常に生徒がうろうろしているように見える。

最後に提案であるが、関西大学グループには複数の併設校が存在するので、何度かは交流プログラムが有っても良いと思う。大学主催のもとで希望者参加の弁論大会や、英語のスピーチコンテスト等、同じ関西大学を目指す者同士の意見交換の場があれば嬉しい。特に英語教育になるが、ホームステイの行事は提携校を探し、お互いの学校を体験するようにするともっと有意義になるのではないかと？もちろんこちらの方も受け入れなければならないが、希望する保護者もあるかと思う。

氏名	所属及び役職
石橋 章一朗	関西大学 法学部教授
児玉 至弘	関西大学第一高等学校 教育後援会会長
西村 栄一	関西大学第一中学校 P T A会長
野木 万也	学校長
三ツ石 悦久	教頭（第一高等学校）※オブザーバー
蔭地 陽介	教頭（第一中学校）※オブザーバー

6 校長の意見書

関西大学第一高等学校・第一中学校
校長 野木 万也

本校は今年で創立 105 年を迎えた。関西大学が法律学校から発足したことを受け、教育方針を「正義を重んじ誠実をつらぬく」とし、これまで関西大学の併設校として多くの卒業生を送り出してきた。本校の特色は関西大学の併設校であるメリットを活かし、学習のみにとらわれない自由でのびのびとした校風を謳い文句に優秀な生徒を育成してきた。しかし、学校も少子化の波に押され、長年男子校であった本校が 23 年前に共学化に踏み切った以来、バンカラな校風が徐々に変化し、今や男子校の面影は完全になりを潜め、完全に共学校としてのイメージが定着した感がある。そのような中、毎年、中学、高校共に優秀な生徒が入学してくれている。高校について言えば、大阪府内で専願のみで定員を充足する学校は珍しい。それだけ、本校に入学を希望する生徒が多い証拠であろう。これほどの少子化を迎えた時代に本校を希望してくれる生徒が多いことは大変感謝すべきことである。もちろん、本校に対する魅力が大きいからであろうが、中でも関西大学への進学の一助、それに伴う中学生活、高校生活でのゆとりといった点はまさに最大の魅力であろう。今後とも現状に満足することなく、本校教育のよりよい改善に向けて努力しなければならないと改め

と感じているところである。特に、中学、高校教育の中核をなす知育について注力すべきことは改めて言うまでもないが、受験のための知識ではなく、高等教育を含む将来に役立つ知識を身につけ、早い段階で自らの進路を見定められるように指導することも肝要である。そのために、大学併設校であるメリットを活かし、大学での学びを各学部が実施している各種セミナーを通じて生徒たちに周知し、積極的に参加させることが効果的であろう。

また、今年度は6月の大阪北部地震、7月、9月の豪雨等、例年になく、自然災害に見舞われた年でもあった。これを受け、防災教育の重要性を再認識させられた。これまでも避難訓練を通じ、防災に対する生徒への意識付けは行ってきたが、一層身近な問題として保護者も含め、一人ひとりに考えさせなければならない。

さらに、現代社会で大きくクローズアップされている、いじめの問題である。本校では「いじめ行為は絶対に許さない。」という共通認識を持っていじめ防止対策委員会を中心に、この問題に対応している。どの学校でも起こりうる問題ではあるが、本校では未然に防ぐために生徒集会を通じ、他人に対する思いやりの重要性を訴えることに加え、発生した場合は、学校と保護者が連携し、できるだけ早い段階で解決できるように努力している。その甲斐もあり、現在まで大きな問題は発生していないが、今後とも気を緩めることなく常に目を光らせておく必要があると考えている。

終わりに、アンケート結果から見ると、生徒、保護者共に本校全体に対する満足度はかなり高い。しかし、細部においては不満もあるような結果となっている。今後は、まず改善可能な部分から取り組み、本校が一層魅力ある学校となるよう努力していきたい。

7 アンケート結果

資料 1 2018 年度 学校評価（教員_自己点検）集計結果表

資料 2-1 2018 年度 学校評価（保護者：高校）集計結果表

資料 2-2 同上（対象：高校3年生保護者）集計結果表

資料 2-3 同上（対象：高校2年生保護者）集計結果表

資料 2-4 同上（対象：高校1年生保護者）集計結果表

資料 3-1 2018 年度 学校評価（保護者：中学校）集計結果表

資料 3-2 同上（対象：中学3年生保護者）集計結果表

資料 3-3 同上（対象：中学2年生保護者）集計結果表

資料 3-4 同上（対象：中学1年生保護者）集計結果表

資料 4-1 2018 年度 学校評価（高校生徒）集計結果表

資料 4-2 同上（対象：高校3年生）集計結果表

資料 4-3 同上（対象：高校2年生）集計結果表

資料 4-4 同上（対象：高校1年生）集計結果表

資料 5-1 2018 年度 学校評価（中学生徒）集計結果表

資料 5-2 同上（対象：中学3年生）集計結果表

資料 5-3 同上（対象：中学2年生）集計結果表

資料 5-4 同上（対象：中学1年生）集計結果表

以上

2018年度

学校評価(教員_自己点検)集計結果表

実施日:2018/12/7
 関西大学第一高等学校
 関西大学第一中学校

回答者数	76
------	----

(資料1)

集計対象	教員
------	----

No	設問文	回答数				有効 回答 数	無効 回答 数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般		39	36	1	0	76	0	51%	47%	1%	0%
1	本校の生徒は充実した学校生活を楽しんでいる。	19	52	5	0	76	0	25%	68%	7%	0%
2	本校に入学した生徒・保護者の満足度は高い。	44	31	0	1	76	0	58%	41%	0%	1%
3	学校説明会やオープンキャンパスは、本校の学校生活を紹介するのに役立っている。	12	39	18	6	75	1	16%	52%	24%	8%
4	建学の精神に基づく教育方針・教育目標は、教職員・保護者などの関係者によく浸透している。	7	28	27	14	76	0	9%	37%	36%	18%
5	職員会議や学年会議、教科会議などが効率よく機能的に運営されている。	26	41	9	0	76	0	34%	54%	12%	0%
6	警察や消防署と連携し、避難訓練や安全講習会を開くなどの安全対策を講じている。	17	39	18	2	76	0	22%	51%	24%	3%
7	災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられている。	8	30	33	5	76	0	11%	39%	43%	7%
8	学力向上のための、組織的な取組を行っている。	21	34	18	3	76	0	28%	45%	24%	4%
9	学力不足生徒へのフォローのために補習授業や個人指導を行っている。	30	35	10	1	76	0	39%	46%	13%	1%
10	学習状況の説明や家庭学習の把握のため、保護者との懇談や連絡を緊密に行っている。	26	40	9	1	76	0	34%	53%	12%	1%
11	生徒に学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組を行っている。	33	35	5	3	76	0	43%	46%	7%	4%
12	いじめの事態把握に努め、生徒が発する危険信号等を見逃さないようにして早期発見に努める体制が整い、学校組織として共有できている。	24	26	22	4	76	0	32%	34%	29%	5%
13	情報機器とのつきあい方についての指導をおこなっている。	34	32	10	0	76	0	45%	42%	13%	0%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導を行っている。	4	25	32	15	76	0	5%	33%	42%	20%
15	学習や部活動の施設・設備が充実している。	33	34	7	2	76	0	43%	45%	9%	3%
16	関一祭や体育大会などの学校行事において、生徒会や各委員会は積極的に活動している。	31	34	11	0	76	0	41%	45%	14%	0%
17	本校の宿泊行事は充実している。	31	36	8	1	76	0	41%	47%	11%	1%
18	本校の古典芸能・芸術・美術鑑賞は、充実している。	17	35	21	3	76	0	22%	46%	28%	4%
19	校外での活動・学習は、生徒の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っている。	29	41	4	2	76	0	38%	54%	5%	3%
20	勉強や学校生活について、生徒からの質問や相談を受けやすい関係を作っている。	33	37	5	0	75	1	44%	49%	7%	0%
21	生徒の人権に配慮した指導をおこなっている。	15	37	21	3	76	0	20%	49%	28%	4%
22	高大あるいは中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われている。	22	35	17	2	76	0	29%	46%	22%	3%
23	進路に関する情報は、生徒に提供されている。	21	38	16	1	76	0	28%	50%	21%	1%
24	生徒・保護者の悩みに対して、教員による相談体制やカウンセリング体制が学校全体として整っている。	11	29	30	6	76	0	14%	38%	39%	8%
25	本校は、教員の資質向上、生徒の知的好奇心を喚起する授業構成のための校内外の研修体制が充実している。										

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

学校運営・教育内容・生徒支援

研修

2018年度 学校評価(保護者:高校) 集計結果表

集計対象 保護者(高校) 1024

(資料2)

No	設問文	回答者数				回答率(%)				有効回答数	無効回答数
		A	B	C	D	A	B	C	D		
全般	1	548	393	64	16	54%	38%	6%	2%	1021	3
	2	552	382	74	16	54%	37%	7%	2%	1024	0
	3	326	477	171	49	32%	47%	17%	5%	1023	1
	4	363	571	76	11	36%	56%	7%	1%	1021	3
	5	217	486	269	49	21%	48%	26%	5%	1021	3
	6	211	375	320	113	21%	37%	31%	11%	1019	5
	7	195	449	301	77	19%	44%	29%	8%	1022	2
	8	251	578	163	23	25%	57%	16%	2%	1015	9
	9	202	451	274	94	20%	44%	27%	9%	1021	3
	10	252	468	245	55	25%	46%	24%	5%	1020	4
	11	364	515	121	23	36%	50%	12%	2%	1023	1
	12	370	495	127	27	36%	49%	12%	3%	1019	5
	13	245	516	221	39	24%	51%	22%	4%	1021	3
	14	343	532	131	15	34%	52%	13%	1%	1021	3
	15	402	423	152	45	39%	41%	15%	4%	1022	2
	16	445	467	97	13	44%	46%	9%	1%	1022	2
	17	308	431	245	37	30%	42%	24%	4%	1021	3
	18	291	488	192	51	28%	48%	19%	5%	1022	2
	19	294	582	109	32	29%	57%	11%	3%	1017	7
	20	386	484	125	28	38%	47%	12%	3%	1023	1
	21	337	502	152	32	33%	49%	15%	3%	1023	1
	22	305	517	161	39	30%	51%	16%	4%	1022	2
研修	23	243	523	202	52	24%	51%	20%	5%	1020	4
その他	24	371	460	144	47	36%	45%	14%	5%	1022	2
	25	182	322	320	198	18%	32%	31%	19%	1022	2

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:高校) 集計結果表

集計対象 保護者(高校3年) 306

(資料2)

No	設問文	回答数				回答率(%)				有効回答数	無効回答数
		A	B	C	D	A	B	C	D		
全般	1	153	124	22	5	50%	41%	7%	2%	304	2
	2	154	107	35	10	50%	35%	11%	3%	306	0
	3	93	130	60	23	30%	42%	20%	8%	306	0
	4	113	158	29	5	37%	52%	10%	2%	305	1
	5	69	138	78	21	23%	45%	25%	7%	306	0
	6	61	113	92	38	20%	37%	30%	13%	304	2
	7	48	133	97	28	16%	43%	32%	9%	306	0
	8	66	179	50	8	22%	59%	17%	3%	303	3
	9	58	131	86	30	19%	43%	28%	10%	305	1
	10	93	133	61	18	30%	44%	20%	6%	305	1
	11	113	147	40	6	37%	48%	13%	2%	306	0
	12	120	146	29	9	39%	48%	10%	3%	304	2
	13	73	154	62	16	24%	50%	20%	5%	305	1
	14	109	151	37	7	36%	50%	12%	2%	304	2
	15	117	125	46	17	38%	41%	15%	6%	305	1
	16	147	125	29	4	48%	41%	10%	1%	305	1
	17	93	128	69	16	30%	42%	23%	5%	306	0
	18	94	149	52	11	31%	49%	17%	4%	306	0
	19	92	159	39	12	30%	53%	13%	4%	302	4
	20	108	130	52	16	35%	42%	17%	5%	306	0
	21	117	126	49	14	38%	41%	16%	5%	306	0
	22	108	137	51	10	35%	45%	17%	3%	306	0
研修	23	83	145	59	19	27%	47%	19%	6%	306	0
その他	24	112	136	41	16	37%	45%	13%	5%	305	1
	25	48	106	93	59	16%	35%	30%	19%	306	0

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:高校) 集計結果表

集計対象 保護者(高校2年) 362

(資料2)

No	設問文	回答者数				回答率(%)				有効回答数	無効回答数
		A	B	C	D	A	B	C	D		
全般		203	131	23	5	56%	36%	6%	1%	362	0
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	201	138	19	4	56%	38%	5%	1%	362	0
2	保護者として、この学校に入学させてよかったですか。	123	177	52	10	34%	49%	14%	3%	362	0
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	124	213	21	2	34%	59%	6%	1%	360	2
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	78	180	91	11	22%	50%	25%	3%	360	2
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	73	140	116	32	20%	39%	32%	9%	361	1
6	災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられていると思われませんか。	73	166	104	18	20%	46%	29%	5%	361	1
7	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	96	197	61	4	27%	55%	17%	1%	358	4
8	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	75	168	86	31	21%	47%	24%	9%	360	2
9	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	83	165	94	18	23%	46%	26%	5%	360	2
10	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	125	182	48	6	35%	50%	13%	2%	361	1
11	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	133	170	52	6	37%	47%	14%	2%	361	1
12	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	95	178	81	7	26%	49%	22%	2%	361	1
13	情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	123	183	52	3	34%	51%	14%	1%	361	1
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	141	146	59	15	39%	40%	16%	4%	361	1
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	153	180	26	2	42%	50%	7%	1%	361	1
16	高1宿泊研修、高2修学旅行は、充実していると思われませんか。	96	157	95	12	27%	44%	26%	3%	360	2
17	古典芸能鑑賞は、ご子女の情操教育に役立っていると思われませんか。	106	165	71	19	29%	46%	20%	5%	361	1
18	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	113	210	31	7	31%	58%	9%	2%	361	1
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	133	189	35	4	37%	52%	10%	1%	361	1
20	高大の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	108	188	54	11	30%	52%	15%	3%	361	1
21	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	101	177	69	14	28%	49%	19%	4%	361	1
22	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていますか。	86	195	64	14	24%	54%	18%	4%	359	3
23	本校の教員は、教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	139	164	46	12	39%	45%	13%	3%	361	1
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	62	109	116	73	17%	30%	32%	20%	360	2
25	本校のホームページを十分に活用されていますか。										
研修											
その他											

設問への回答 (A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:高校) 集計結果表

集計対象 保護者(高校1年)

回答者数 356

(資料2)

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般	1	192	138	19	6	355	1	54%	39%	5%	2%
	2	197	137	20	2	356	0	55%	38%	6%	1%
	3	110	170	59	16	355	1	31%	48%	17%	5%
	4	126	200	26	4	356	0	35%	56%	7%	1%
	5	70	168	100	17	355	1	20%	47%	28%	5%
	6	77	122	112	43	354	2	22%	34%	32%	12%
	7	74	150	100	31	355	1	21%	42%	28%	9%
	8	89	202	52	11	354	2	25%	57%	15%	3%
	9	69	152	102	33	356	0	19%	43%	29%	9%
学校運営・教育内容・生徒支援	10	76	170	90	19	355	1	21%	48%	25%	5%
	11	126	186	33	11	356	0	35%	52%	9%	3%
	12	117	179	46	12	354	2	33%	51%	13%	3%
	13	77	184	78	16	355	1	22%	52%	22%	5%
	14	111	198	42	5	356	0	31%	56%	12%	1%
	15	144	152	47	13	356	0	40%	43%	13%	4%
	16	145	162	42	7	356	0	41%	46%	12%	2%
	17	119	146	81	9	355	1	34%	41%	23%	3%
	18	91	174	69	21	355	1	26%	49%	19%	6%
	19	89	213	39	13	354	2	25%	60%	11%	4%
	20	145	165	38	8	356	0	41%	46%	11%	2%
	21	112	188	49	7	356	0	31%	53%	14%	2%
	22	96	203	41	15	355	1	27%	57%	12%	4%
研修	23	74	183	79	19	355	1	21%	52%	22%	5%
その他	24	120	160	57	19	356	0	34%	45%	16%	5%
	25	72	107	111	66	356	0	20%	30%	31%	19%

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:中学) 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象 保護者(中学)

回答者数 691

(資料3)

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般		400	234	46	9	689	2	58%	34%	7%	1%
	1 子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	425	228	33	4	690	1	62%	33%	5%	1%
	2 保護者として、この学校に入学させてよかったですか。	263	331	81	16	691	0	38%	48%	12%	2%
	3 本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	328	315	43	4	690	1	48%	46%	6%	1%
	4 本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	198	347	125	19	689	2	29%	50%	18%	3%
	5 避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	192	286	171	40	689	2	28%	42%	25%	6%
	6 災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられていると思われませんか。	185	319	161	22	687	4	27%	46%	23%	3%
	7 本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	209	370	98	11	688	3	30%	54%	14%	2%
	8 電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	189	284	165	51	689	2	27%	41%	24%	7%
	9 習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	192	311	161	26	690	1	28%	45%	23%	4%
	10 学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	291	293	96	11	691	0	42%	42%	14%	2%
	11 学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	274	316	84	15	689	2	40%	46%	12%	2%
	12 いじめを許さない学校・学級作り積極的に取り組んでいると思われませんか。	233	329	113	14	689	2	34%	48%	16%	2%
	13 情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	268	337	81	3	689	2	39%	49%	12%	0%
	14 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	279	281	107	24	691	0	40%	41%	15%	3%
	15 学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	451	215	21	4	691	0	65%	31%	3%	1%
	16 中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していると思われませんか。	289	297	99	5	690	1	42%	43%	14%	1%
	17 校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	187	293	171	39	690	1	27%	42%	25%	6%
	18 勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	243	342	84	20	689	2	35%	50%	12%	3%
	19 教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	178	358	135	16	687	4	26%	52%	20%	2%
	20 中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	159	329	170	31	689	2	23%	48%	25%	4%
	21 ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	223	341	106	20	690	1	32%	49%	15%	3%
	22 ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いませんか。	205	352	111	18	686	5	30%	51%	16%	3%
研修	23 本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	241	293	120	34	688	3	35%	43%	17%	5%
その他	24 食堂は、利用しやすいと思われませんか。	169	229	197	94	689	2	25%	33%	29%	14%
	25 本校のホームページを十分に活用されていますか。										

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:中学) 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象 保護者(中学3年)

回答者数 237

(資料3)

No	設問文	回答数				無効回答数	回答率(%)				
		A	B	C	D		A	B	C	D	
全般		135	79	19	4	237	0	57%	33%	8%	2%
	1 子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	137	88	10	2	237	0	58%	37%	4%	1%
	2 保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	84	112	35	6	237	0	35%	47%	15%	3%
	3 本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	105	113	17	2	237	0	44%	48%	7%	1%
	4 本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	65	124	45	3	237	0	27%	52%	19%	1%
	5 避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	64	100	61	12	237	0	27%	42%	26%	5%
	6 災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられていると思われませんか。	66	104	57	8	235	2	28%	44%	24%	3%
	7 本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	70	117	44	5	236	1	30%	50%	19%	2%
	8 電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	65	97	59	16	237	0	27%	41%	25%	7%
	9 習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	64	110	53	10	237	0	27%	46%	22%	4%
	10 学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	84	116	33	4	237	0	35%	49%	14%	2%
	11 学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	97	101	34	5	237	0	41%	43%	14%	2%
	12 いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	74	112	43	7	236	1	31%	47%	18%	3%
	13 情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	80	119	38	0	237	0	34%	50%	16%	0%
	14 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	83	105	41	8	237	0	35%	44%	17%	3%
	15 学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	158	69	8	2	237	0	67%	29%	3%	1%
	16 中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していると思われませんか。	96	91	48	2	237	0	41%	38%	20%	1%
	17 校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	59	115	49	14	237	0	25%	49%	21%	6%
	18 勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	81	123	25	8	237	0	34%	52%	11%	3%
	19 教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	60	122	49	6	237	0	25%	51%	21%	3%
	20 中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	71	123	37	6	237	0	30%	52%	16%	3%
	21 ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	81	116	35	5	237	0	34%	49%	15%	2%
	22 ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いませんか。	73	123	34	7	237	0	31%	52%	14%	3%
研修	23 本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	74	102	41	20	237	0	31%	43%	17%	8%
その他	24 食堂は、利用しやすいと思われませんか。	58	71	72	36	237	0	24%	30%	30%	15%
	25 本校のホームページを十分に活用されていますか。										

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(保護者:中学) 集計結果表

関西大学第一中学校

集計対象 保護者(中学2年)

回答者数 228

(資料3)

No	設問文	回答数				回答率(%)			
		A	B	C	D	A	B	C	D
1	ご子は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	131	80	13	2	58%	35%	6%	1%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったと思われませんか。	142	72	12	1	63%	32%	5%	0%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	78	120	26	4	34%	53%	11%	2%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	107	103	16	1	47%	45%	7%	0%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	70	123	28	6	31%	54%	12%	3%
6	災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられていると思われませんか。	66	107	45	9	29%	47%	20%	4%
7	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	49	105	61	12	22%	46%	27%	5%
8	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	74	119	30	3	33%	53%	13%	1%
9	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	52	87	66	22	23%	38%	29%	10%
10	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	58	102	58	10	25%	45%	25%	4%
11	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	92	97	34	5	40%	43%	15%	2%
12	いじめを許さない学校・学級作り積極的に取り組んでいると思われませんか。	89	103	28	7	39%	45%	12%	3%
13	情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	72	107	46	2	32%	47%	20%	1%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	91	112	23	1	40%	49%	10%	0%
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	96	82	41	9	42%	36%	18%	4%
16	中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していると思われませんか。	154	67	5	2	68%	29%	2%	1%
17	校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	92	107	27	2	40%	47%	12%	1%
18	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	53	80	79	15	23%	35%	35%	7%
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	67	116	37	7	30%	51%	16%	3%
20	中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に行われていると思われませんか。	52	116	51	8	23%	51%	22%	4%
21	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	42	104	67	14	19%	46%	30%	6%
22	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いませんか。	66	111	42	9	29%	49%	18%	4%
23	本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	56	120	43	8	25%	53%	19%	4%
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	81	100	38	7	36%	44%	17%	3%
25	本校のホームページを十分に活用されていますか。	50	75	70	33	22%	33%	31%	14%

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

実施日:2018/12/10

2018年度 学校評価(保護者:中学) 集計結果表

関西大学第一中学校

回答者数 226

(資料3)

No	設問文	回答数				無効回答数	回答率(%)			
		A	B	C	D		A	B	C	D
全般		134	75	14	3	0	59%	33%	6%	1%
1	ご子女は、生き生きとした学校生活を送っていると思われませんか。	146	68	11	1	0	65%	30%	5%	0%
2	保護者として、この学校に入学させてよかったですと思われませんか。	101	99	20	6	0	45%	44%	9%	3%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	116	99	10	1	0	51%	44%	4%	0%
4	本校の教育方針・教育目標を理解されていますか。	63	100	52	10	1	28%	44%	23%	4%
5	避難訓練や安全対策など積極的な対策を講じていると思われませんか。	62	79	65	19	1	28%	35%	29%	8%
6	災害時や緊急時に生徒の安全を確認するための手段が講じられていると思われませんか。	70	110	43	2	1	31%	49%	19%	1%
7	本校は学力向上のために組織的な取組を行っていると思われませんか。	65	134	24	3	0	29%	59%	11%	1%
8	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思われませんか。	72	100	40	13	1	32%	44%	18%	6%
9	習熟度の遅れた生徒へのフォローや補習授業の取組が十分に行われていると思われませんか。	70	99	50	6	1	31%	44%	22%	3%
10	学校からの連絡や懇談は緊密に行われていると思われませんか。	115	80	29	2	0	51%	35%	13%	1%
11	学校や社会のルールを遵守させ、生徒としてのマナーやモラルを向上させる取組が行われていると思われませんか。	88	112	22	3	1	39%	50%	10%	1%
12	いじめを許さない学校・学級作りに積極的に取り組んでいると思われませんか。	87	110	24	5	0	38%	49%	11%	2%
13	情報機器とのつきあい方の向上に対する取組が行われていると思われませんか。	97	106	20	2	1	43%	47%	9%	1%
14	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの指導が行われていると思われませんか。	100	94	25	7	0	44%	42%	11%	3%
15	学習や部活動の施設・設備は充実していると思われませんか。	139	79	8	0	0	62%	35%	4%	0%
16	中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していると思われませんか。	101	99	24	1	1	45%	44%	11%	0%
17	校外での活動・学習は、ご子女の興味・関心を生かし、自主的、自発的な学習を促すことに役立っていると思われませんか。	75	98	43	10	0	33%	43%	19%	4%
18	勉強や学校生活について、ご子女から教員に質問や相談ができる関係が作られていると思われませんか。	95	103	22	5	1	42%	46%	10%	2%
19	教員の指導方法は、人権に配慮したものになっていると思われませんか。	66	120	35	2	3	30%	54%	16%	1%
20	中大、中高の学校同士の教育連携が積極的に進んでいると思われませんか。	46	102	66	11	1	20%	45%	29%	5%
21	ご子女の進路に関する情報は、提供されていると思われませんか。	76	114	29	6	1	34%	51%	13%	3%
22	ご子女に何らかの問題が生じたとき、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思われませんか。	76	109	34	3	4	34%	49%	15%	1%
23	本校の教員は教材研究や指導力の向上に努めようとしていると思われませんか。	86	91	41	7	1	38%	40%	18%	3%
24	食堂は、利用しやすいと思われませんか。	61	83	55	25	2	27%	37%	25%	11%
25	本校のホームページを十分に活用されていますか。									

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

学校運営・教育内容・生徒支援

研修

その他

2018年度 学校評価(高校生徒) 集計結果表

(資料4)

回答者数 378

集計対象 高校3年生

No	設問文	回答数				有効 回答 数	無効 回答 数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般		224	132	12	10	378	0	59%	35%	3%	3%
	1 学校生活は楽しいと感じていますか。	165	160	38	15	378	0	44%	42%	10%	4%
	2 この学校に入学してよかったですか。	56	126	122	72	376	2	15%	34%	32%	19%
	3 本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	82	172	81	39	374	4	22%	46%	22%	10%
	4 本校の教育方針を理解していますか。	101	171	79	26	377	1	27%	45%	21%	7%
	5 事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	73	147	113	44	377	1	19%	39%	30%	12%
	6 授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	115	185	60	18	378	0	30%	49%	16%	5%
	7 電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	70	164	97	47	378	0	19%	43%	26%	12%
	8 成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえらる仕組みがあると感じていますか。	128	165	65	20	378	0	34%	44%	17%	5%
	9 自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	74	174	104	26	378	0	20%	46%	28%	7%
	10 生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	109	152	91	26	378	0	29%	40%	24%	7%
	11 いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	95	191	76	16	378	0	25%	51%	20%	4%
	12 情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	103	191	70	14	378	0	27%	51%	19%	4%
	13 基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	132	164	59	23	378	0	35%	43%	16%	6%
	14 学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	141	188	36	13	378	0	37%	50%	10%	3%
	15 図書室は、利用しやすいと思いますか。	216	142	13	6	377	1	57%	38%	3%	2%
	16 関一祭や体育祭において、生徒会や各委員会が活躍していたと思いますか。	160	176	33	8	377	1	42%	47%	9%	2%
	17 高1宿泊研修、高2修学旅行は、充実していましたか。	133	177	56	12	378	0	35%	47%	15%	3%
	18 狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いますか。	105	190	60	22	377	1	28%	50%	16%	6%
	19 勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	106	189	57	26	378	0	28%	50%	15%	7%
	20 先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	126	174	61	16	377	1	33%	46%	16%	4%
	21 高次の教育連携があると思いますか。	108	182	61	26	377	1	29%	48%	16%	7%
	22 進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	92	169	89	28	378	0	24%	45%	24%	7%
	23 悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	104	161	89	22	376	2	28%	43%	24%	6%
	24 工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	175	159	29	13	376	2	47%	42%	8%	3%
	25 食堂は、利用しやすいですか。										

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

学校運営・教育内容・生徒支援

2018年度 学校評価(高校生徒) 集計結果表

2018年度

集計対象 高校2年生

回答者数 391

(資料4)

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	240	125	21	5	391	0	61%	32%	5%	1%
2	この学校に入學してよかったですか。	183	167	32	9	391	0	47%	43%	8%	2%
3	本校での学校生活は、入學前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	68	174	99	50	391	0	17%	45%	25%	13%
4	本校の教育方針を理解していますか。	120	203	52	16	391	0	31%	52%	13%	4%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	168	164	45	13	390	1	43%	42%	12%	3%
6	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	119	202	60	10	391	0	30%	52%	15%	3%
7	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	213	152	20	6	391	0	54%	39%	5%	2%
8	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	152	182	43	14	391	0	39%	47%	11%	4%
9	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	183	156	41	11	391	0	47%	40%	10%	3%
10	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	112	214	51	12	389	2	29%	55%	13%	3%
11	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	151	181	47	11	390	1	39%	46%	12%	3%
12	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	131	203	41	15	390	1	34%	52%	11%	4%
13	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	148	202	36	4	390	1	38%	52%	9%	1%
14	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	170	159	45	16	390	1	44%	41%	12%	4%
15	図書室は、利用しやすいと思いますか。	193	158	31	9	391	0	49%	40%	8%	2%
16	関一祭や体育祭において、生徒会や各委員会が活躍していたと思いますか。	227	133	24	7	391	0	58%	34%	6%	2%
17	高1宿泊研修、高2修学旅行は、充実していましたか。	176	178	26	10	390	1	45%	46%	7%	3%
18	狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いますか。	147	175	56	12	390	1	38%	45%	14%	3%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	148	187	42	13	390	1	38%	48%	11%	3%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	149	194	37	11	391	0	38%	50%	9%	3%
21	高大の教育連携があると思いますか。	172	177	38	4	391	0	44%	45%	10%	1%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	202	164	19	6	391	0	52%	42%	5%	2%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	113	202	64	11	390	1	29%	52%	16%	3%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	88	160	102	36	386	5	23%	41%	26%	9%
25	食堂は、利用しやすいですか。	218	135	28	7	388	3	56%	35%	7%	2%

学校運営・教育内容・生徒支援

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

学校評価(高校生徒) 集計結果表

2018年度

集計対象 高校生

回答者数 399

(資料4)

No	設問文	回答数				無効回答数	回答率(%)				
		A	B	C	D		A	B	C	D	
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	227	147	18	7	399	0	57%	37%	5%	2%
2	この学校に入學してよかったですか。	163	191	37	8	399	0	41%	48%	9%	2%
3	本校での学校生活は、入學前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	67	148	133	51	399	0	17%	37%	33%	13%
4	本校の教育方針を理解していますか。	113	191	65	29	398	1	28%	48%	16%	7%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	155	169	63	12	399	0	39%	42%	16%	3%
6	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	91	180	96	32	399	0	23%	45%	24%	8%
7	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	205	154	29	11	399	0	51%	39%	7%	3%
8	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	144	179	51	25	399	0	36%	45%	13%	6%
9	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	199	148	38	14	399	0	50%	37%	10%	4%
10	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	124	186	69	19	398	1	31%	47%	17%	5%
11	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	169	147	68	15	399	0	42%	37%	17%	4%
12	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	157	179	56	7	399	0	39%	45%	14%	2%
13	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	171	181	36	10	398	1	43%	45%	9%	3%
14	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	216	135	33	15	399	0	54%	34%	8%	4%
15	図書室は、利用しやすいと思いますか。	216	135	41	6	398	1	54%	34%	10%	2%
16	関一祭や体育祭において、生徒会や各委員会が活躍していたと思いますか。	271	104	19	4	398	1	68%	26%	5%	1%
17	高1宿泊研修、高2修学旅行は、充実していましたか。	187	136	51	25	399	0	47%	34%	13%	6%
18	狂言・文楽鑑賞会は、古典芸能に触れるいい機会だったと思いますか。	196	144	44	13	397	2	49%	36%	11%	3%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	161	173	54	11	399	0	40%	43%	14%	3%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	128	189	55	26	398	1	32%	47%	14%	7%
21	高大の教育連携があると思いますか。	211	140	36	11	398	1	53%	35%	9%	3%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	213	141	36	8	398	1	54%	35%	9%	2%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	118	171	83	27	399	0	30%	43%	21%	7%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	110	124	121	40	395	4	28%	31%	31%	10%
25	食堂は、利用しやすいですか。	245	110	32	9	396	3	62%	28%	8%	2%

学校運営・教育内容・生徒支援

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

実施日:2018/12/10

2018年度 学校評価(中学生校生) 集計結果表

関西大学第一中学校

(資料5)

回答者数 716

集計対象 中学生

No	設問文	回答数				有効回答数	無効回答数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	465	214	25	11	715	1	65%	30%	3%	2%
2	この学校に入学してよかったですか。	425	236	41	14	716	0	59%	33%	6%	2%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	187	331	146	49	713	3	26%	46%	20%	7%
4	本校の教育方針を理解していますか。	264	329	89	32	714	2	37%	46%	12%	4%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	376	284	45	11	716	0	53%	40%	6%	2%
6	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	281	334	80	20	715	1	39%	47%	11%	3%
7	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	419	249	37	9	714	2	59%	35%	5%	1%
8	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	307	288	89	30	714	2	43%	40%	12%	4%
9	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	388	249	57	21	715	1	54%	35%	8%	3%
10	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	249	344	86	33	712	4	35%	48%	12%	5%
11	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	345	257	76	37	715	1	48%	36%	11%	5%
12	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	316	310	67	22	715	1	44%	43%	9%	3%
13	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	348	308	49	11	716	0	49%	43%	7%	2%
14	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	351	265	65	34	715	1	49%	37%	9%	5%
15	図書室は、利用しやすいと思いますか。	330	283	74	26	713	3	46%	40%	10%	4%
16	球技大会、体育大会や合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	420	234	45	16	715	1	59%	33%	6%	2%
17	中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していましたか。	518	158	24	16	716	0	72%	22%	3%	2%
18	校外での活動・学習に興味や関心を持ちましたか。	349	290	58	19	716	0	49%	41%	8%	3%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	234	339	103	38	714	2	33%	47%	14%	5%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	251	313	102	49	715	1	35%	44%	14%	7%
21	中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	276	304	98	37	715	1	39%	43%	14%	5%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	268	315	105	25	713	3	38%	44%	15%	4%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	243	298	130	43	714	2	34%	42%	18%	6%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	307	276	97	30	710	6	43%	39%	14%	4%
25	食堂は、利用しやすいですか。	449	203	46	14	712	4	63%	29%	6%	2%

設問への回答 (A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

研修
その他

実施日:2018/12/10

2018年度 学校評価(中学校生徒) 集計結果表

関西大学第一中学校

(資料5)

回答者数 248

No	設問文	回答数				有効 回答 数	無効 回答 数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般		163	69	10	6	248	0	66%	28%	4%	2%
	1 学校生活は楽しいと感じていますか。	134	86	20	8	248	0	54%	35%	8%	3%
	2 この学校に入学してよかったと思いますか。	61	113	53	20	247	1	25%	46%	21%	8%
	3 本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	81	109	37	20	247	1	33%	44%	15%	8%
	4 本校の教育方針を理解していますか。	129	95	16	8	248	0	52%	38%	6%	3%
	5 事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	97	97	40	14	248	0	39%	39%	16%	6%
	6 授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	129	94	19	6	248	0	52%	38%	8%	2%
	7 電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	112	89	33	14	248	0	45%	36%	13%	6%
	8 成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえらる仕組みがあると感じていますか。	128	88	26	5	247	1	52%	36%	11%	2%
	9 自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	69	121	44	14	248	0	28%	49%	18%	6%
	10 生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	119	90	21	18	248	0	48%	36%	8%	7%
	11 いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	98	107	31	12	248	0	40%	43%	13%	5%
	12 情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	107	119	16	6	248	0	43%	48%	6%	2%
	13 基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	104	100	28	16	248	0	42%	40%	11%	6%
	14 学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	98	103	31	15	247	1	40%	42%	13%	6%
	15 図書室は、利用しやすいと思いますか。	145	84	12	7	248	0	58%	34%	5%	3%
	16 球技大会、体育大会や合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	176	57	8	7	248	0	71%	23%	3%	3%
	17 中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していましたか。	105	104	30	9	248	0	42%	42%	12%	4%
	18 校外での活動・学習に興味や関心を持ちましたか。	78	110	43	16	247	1	32%	45%	17%	6%
	19 勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	74	110	41	23	248	0	30%	44%	17%	9%
	20 先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	84	98	47	19	248	0	34%	40%	19%	8%
	21 中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	107	100	32	9	248	0	43%	40%	13%	4%
	22 進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	71	97	58	21	247	1	29%	39%	23%	9%
	23 悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	89	97	44	14	244	4	36%	40%	18%	6%
	24 工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	150	71	19	5	245	3	61%	29%	8%	2%
研修 その他											

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

実施日:2018/12/10

学校評価(中学校生徒) 集計結果表

2018年度

関西大学第一中学校

集計対象 中学2年生

回答者数 236

(資料5)

No	設問文	回答数				有効 回答 数	無効 回答 数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
1	学校生活は楽しいと感じていますか。	146	83	6	0	235	1	62%	35%	3%	0%
2	この学校に入学してよかったですか。	129	90	13	4	236	0	55%	38%	6%	2%
3	本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	69	106	45	14	234	2	29%	45%	19%	6%
4	本校の教育方針を理解していますか。	84	110	35	7	236	0	36%	47%	15%	3%
5	事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	121	98	16	1	236	0	51%	42%	7%	0%
6	授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	88	120	24	4	236	0	37%	51%	10%	2%
7	電子黒板は授業の内容を理解するのに役立つと思っていますか。	134	89	11	1	235	1	57%	38%	5%	0%
8	成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	86	111	28	10	235	1	37%	47%	12%	4%
9	自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	130	82	15	9	236	0	55%	35%	6%	4%
10	生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	87	113	26	10	236	0	37%	48%	11%	4%
11	いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	108	84	31	13	236	0	46%	36%	13%	6%
12	情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	101	108	20	6	235	1	43%	46%	9%	3%
13	基本的な生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	115	97	20	4	236	0	49%	41%	8%	2%
14	学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	114	88	22	11	235	1	49%	37%	9%	5%
15	図書室は、利用しやすいと思いますか。	105	96	24	9	234	2	45%	41%	10%	4%
16	球技大会、体育大会や合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	130	86	14	5	235	1	55%	37%	6%	2%
17	中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していましたか。	182	44	8	2	236	0	77%	19%	3%	1%
18	校外での活動・学習に興味や関心を持ちましたか。	121	98	12	5	236	0	51%	42%	5%	2%
19	勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	67	120	33	16	236	0	28%	51%	14%	7%
20	先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	69	100	44	22	235	1	29%	43%	19%	9%
21	中六、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	90	107	25	13	235	1	38%	46%	11%	6%
22	進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	79	111	32	11	233	3	34%	48%	14%	5%
23	悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	81	99	41	14	235	1	34%	42%	17%	6%
24	工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	100	96	29	10	235	1	43%	41%	12%	4%
25	食堂は、利用しやすいですか。	145	75	12	4	236	0	61%	32%	5%	2%

学校運営・教育内容・生徒支援

設問への回答(A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない)

2018年度 学校評価(中学校生徒) 集計結果表

関西大学第一中学校

(資料5)

回答者数 232

No	設問文	回答数				有効 回答 数	無効 回答 数	回答率(%)			
		A	B	C	D			A	B	C	D
全般	1 学校生活は楽しいと感じていますか。	156	62	9	5	232	0	67%	27%	4%	2%
	2 この学校に入学してよかったですか。	162	60	8	2	232	0	70%	26%	3%	1%
	3 本校での学校生活は、入学前に描いたイメージ通りの学校でしたか。	57	112	48	15	232	0	25%	48%	21%	6%
	4 本校の教育方針を理解していますか。	99	110	17	5	231	1	43%	48%	7%	2%
	5 事故、事件、災害が発生したとき、どのように行動すれば良いのか、指示を受けていますか。	126	91	13	2	232	0	54%	39%	6%	1%
	6 授業を通じ、自分の学力は向上していると感じていますか。	96	117	16	2	231	1	42%	51%	7%	1%
	7 電子黒板は授業の内容を理解するのに役立っていると思いますか。	156	66	7	2	231	1	68%	29%	3%	1%
	8 成績が低迷した場合、補習授業で適切なフォローをしてもらえる仕組みがあると感じていますか。	109	88	28	6	231	1	47%	38%	12%	3%
	9 自分の学習状況を保護者も把握していると思いますか。	130	79	16	7	232	0	56%	34%	7%	3%
	10 生徒としてのマナーやモラル向上のための指導によって、規範意識が昨年より高まったと思いますか。	93	110	16	9	228	4	41%	48%	7%	4%
	11 いじめを許さない指導が日常的に行われていると思いますか。	118	83	24	6	231	1	51%	36%	10%	3%
	12 情報機器とのつきあい方の向上に関する指導によって、規範意識が高まったと思いますか。	117	95	16	4	232	0	50%	41%	7%	2%
	13 基本的生活習慣や健康な身体づくり、基礎体力づくりの仕方を学びましたか。	126	92	13	1	232	0	54%	40%	6%	0%
	14 学習や部活動の施設・設備は充実していると思いますか。	133	77	15	7	232	0	57%	33%	6%	3%
	15 図書室は、利用しやすいと思いますか。	127	84	19	2	232	0	55%	36%	8%	1%
	16 球技大会、体育大会や合唱コンクールにおいて、生徒会や各委員会は活躍していたと思いますか。	145	64	19	4	232	0	63%	28%	8%	2%
	17 中1宿泊研修、中2自然教室、中3研修旅行は、充実していましたか。	160	57	8	7	232	0	69%	25%	3%	3%
	18 校外での活動・学習に興味や関心を持ちましたか。	123	88	16	5	232	0	53%	38%	7%	2%
	19 勉強や学校生活について、先生に質問や相談ができる雰囲気でしたか。	89	109	27	6	231	1	39%	47%	12%	3%
	20 先生の指導方法は、人権に配慮したものであると感じますか。	108	103	17	4	232	0	47%	44%	7%	2%
	21 中大、中高の学校同士の教育連携があると思いますか。	102	99	26	5	232	0	44%	43%	11%	2%
	22 進路に関する情報は、提供されていると思いますか。	82	104	41	5	232	0	35%	45%	18%	2%
	23 悩みが生じたときに、担任をはじめとする教員、学校カウンセラーに相談ができる体制ができていると思いますか。	91	102	31	8	232	0	39%	44%	13%	3%
研修	24 工夫された授業や、おもしろい実験などが取り入れられていると思いますか。	118	83	24	6	231	1	51%	36%	10%	3%
その他	25 食堂は、利用しやすいですか。	154	57	15	5	231	1	67%	25%	6%	2%

設問への回答 (A: あてはまる B: ややあてはまる C: あまりあてはまらない D: あてはまらない)